

hkInitVar（パラメータ取得の初期処理）

hkInitVar()

hkInitVar は Post または Put 時の「x-www-form-urlencoded」形式のパラメータを取得する際に 1 回だけ呼び出す必要があります。なお、Get 時の QueryString を取得する場合には必要ありませんが、記述しておいても問題ありません。

固定フォーマット

```
Callp      hkInitVar()
Eval       parm = hkGetVar('HOGE')
```

フリーフォーマット

```
hkInitVar();
parm = hkGetVar('HOGE');
```

hkGetVar（パラメータ値の取得）

hkGetVar(キー文字列 {デフォルト文字列})

hkGetVar はパラメータ値を取得する際に使用します。第 1 引数にはパラメータのキー値をセットします。第 2 引数には、指定したキー値がない場合に設定する値を設定することができます。

```
Eval       parm = hkGetVar('HOGE')
Eval       parm = hkGetVar('AAAA': '1234')
//URL が「/xxxx/pgm?AAAA=sample」の場合
// parm は「sample」
//URL が「/xxxx/pgm」の場合
//parm は「1234」
```

hkWrtRes（標準出力への書き込み）

hkWrtRes(出力文字列)

hkWrtRes は API「QtmhWrStout」のラッパーです。引数の文字列を標準出力へ出力します。

```
hkWrtRes('Content-Type : text/json' + CRLF + CRLF);
```

hkGetEnv（環境変数の取得）

hkGetEnv(環境変数名)

hkGetEnv は引数に指定された変数名の環境変数値を取得します。代表的な環境変数には以下のものがあります。

HTTP_HOST	接続サーバー
HTTP_USER_AGENT	ユーザー側のエージェント
HTTP_COOKIE	Cookie の値
REMOTE_ADDR	クライアントの IP アドレス
QUERY_STRING	クエリストリング文字列
REQUEST_URI(DOCUMENT_URI)	要求された URL

```
http://host/xxxx/pgm へアクセスした場合
url = hkGetEnv('DOCUMENT_URI');
//url は「/xxxx/pgm」
```

hkUpper（大文字変換）

hkUpper(文字列)

hkUpper は引数の小文字アルファベットを大文字アルファベットへ変換した文字列を返します。

```
arg = 'abc-Def';
res = hkUpper(arg);
//res は「ABC-DEF」
```

hkLower（小文字変換）

hk Lower (文字列)

hk Lower は引数の大文字アルファベットを小文字アルファベットへ変換した文字列を返します。

```
arg = 'Abc-Def';
res = hkLower(arg);
//res は「abc-def」
```

hkGetUriParm（URI パラメータの取得）

hkGetUriParm (基準となる文字列:添え字)

hkGetUriParm は URL に含まれるパラメータ値を取得します。

```
//要求が http://host/xxxxx/pgm/1234568/abcd の場合
```

```
Prm1 = hkGetUriParm('pgm': 1);
```

```
//Prm1 は「1234568」
```

```
Prm2 = hkGetUriParm('pgm': 2);
```

```
//Prm2 は「abcd」
```

```
//要求が http://host/xxxxx/pgm/ の場合
```

```
Prm1 = hkGetUriParm('pgm': 1);
```

```
//Prm1 は「」 ※ブランク
```

hkError (http ステータスコードによるエラー返答)

hkError (http ステータスコード: Error 構造体)

hkError は第 1 引数に指定したステータスコードを返し、そのボディ部として Error 構造体の内容を JSON 形式で返します。

```
//不正な要求エラーとしてエラーを返す場合
```

```
Err.CODE = 'Error'
```

```
Err.MSG = '不正な要求です。'
```

```
hkError(HK_BAD_REQUEST : Err)
```

```
//クライアントへ返される内容
```

```
Status : 400 Bad Request
```

```
{“code”：“Error”,“message”：“不正な要求です。”}
```

hkEnclد (文字列をダブルクォーテーションでくる)

hkEnclد (文字列 { 追加文字列})

hkEnclد は第 1 引数に指定された文字列の前後に「”」を付与した文字列を返します。第 2 引数が指定された場合、返す文字列の末尾に、第 2 引数の文字列を追加して返します。

```
Line += hkEnclد('項目 1':',');
```

```
Line += hkEnclد('項目 2':',');
```

```
Line += hkEnclد('項目 3':',');
```

```
Line += hkEnclد('項目 4');
```

```
// Line は「”項目 1”, ”項目 2”, ”項目 3”, ”項目 4”」
```

hkGetRowCnt (SQL 結果件数の取得)

hkGetRowCnt (SQL 文字列)

hkGetRowCnt は引数に指定された SQL のレコード件数を返します。

```
Cnt = hkGetRowCnt('select * from hogehoge');
```

hkWrtJson (SQL の結果を JSON 形式で出力)

hkWrtJson (SQL 文字列 : (*OBJECT または *ARRAY) { オフセット値 : 出力件数 })

hkWrtJson は第 1 引数に指定された SQL の実行結果を第 2 引数で指定された JSON 形式で標準出力へ出力します。第 3 引数のオフセット値は、SQL 結果の読み飛ばすレコード数を指定します。第 4 引数の出力件数を指定することで出力件数を制限できます。

```
//ペーjing処理を行う例
w.pageno = %int(hkGetVar('pageno':'1'))
w.perpage= %int(hkGetVar('perpage':'30'))
w.offset = ((w.pageno * w.perpage) - w.perpage) + 1
w.rowcnt  = hkGetRowCnt(w.sql)
w.maxpage = %div(w.rowcnt:w.perpage)
if %rem(w.rowcnt:w.perpage) > 0
    w.maxpage += 1
endif
hkWrtJson(W.SQL:'*OBJECT': w.offset:w.perpage)
```

hkWrtCsv (SQL の結果を CSV 式で出力)

hkWrtCsv (SQL 文字列 : ヘッダー部出力フラグ)

hkWrtCsv は第 1 引数に指定された SQL の実行結果を CSV 形式で標準出力へ出力します。第 2 引数に「*ON」が指定された場合、SQL の SELECT フィールド名を CSV ヘッダーとして出力します。「*OFF」が指定された場合、ヘッダーは出力されず、データだけの出力となります。

```
hkWrtRes('Content-Type:text/csv' + CRLF);
hkWrtRes('Content-Disposition: attachment; filename=DOWNLOAD.CSV'
+ CRLF + CRLF);
w.header = "項目 1 ", +
           " 項目 2 ", +
           " 項目 3 ", +
           " 項目 4 ", + CRLF;
hkWrtRes(w.header);
hkWrtCsv('SELECT F1,F2,F3,F4 FROM HOGE':*OFF);
```